

## 栃木県中学校体育連盟沿革

### 昭 和

- 21年 9月 軍事主義的・国家主義的色彩から国民的・平和的教育への転換により、大日本学徒体育振興会栃木支部を、「栃木県学校体育連盟」と改称し再組織、再発足。事務所は、栃木県庁学務課分室に置く。12専門部にて発足する。  
学体連初代会長 山本作郎氏就任
- 22年 4月 第1次米国教育使節団の勧告により「学校教育法」が制定され、新制中学校が発足する。
- 23年 4月 15専門部となり、学校体育連盟主催による第1回の県下大会を開催する。  
賞状、バッジ、優勝旗を作成し授与する。  
分担金として、中学校教職員・生徒1人につき年額5円の新設を行う。
- 24年 4月 17専門部となる。分担金として、中学校教職員・生徒1人につき年額15円に改定する。
- 29年 4月 学体連第2代会長 篠崎 耕太郎氏就任
- 30年 4月 規約改正、高等学校部・中学校部・小学校部の各部会を設ける。中学校部会長に黒田邦博氏事務所を県教育委員会健康教育課より栃木県教育会館（県庁前）に移転する。
- 32年 4月 学体連第3代会長 黒田 邦博氏就任
- 34年 4月 高校部会は「栃木県高等学校体育連盟」となり、中学校と小学校の両部会は、「栃木県学校体育連盟」となる。
- 37年 4月 「栃木県学校体育連盟」は、3年間にわたり中学校と小学校が一体となり活動・運営してきたが、大規模になり複雑化してきたので、中学校部会を発展的に解消し、新たに「栃木県中学校体育連盟」19専門部で発足する。  
初代会長 黒田 邦博氏就任
- 38年 9月 第8回関東中学校保健体育研究協議会栃木大会を今市市で開催する。
- 39年 4月 第2代会長 小野寺 三五七氏就任
- 41年 5月 第3代会長 塚田 武男氏就任  
規約改正により、理事長制を設ける。
- 44年 7月 栃木県中学校総合体育大会の充実。全競技種目選手役員約6000余名が、県営陸上競技場において、各地区選手団別に入場行進をし、開会式を挙行する。
- 46年 4月 第4代会長 五月女 兵吾氏就任
- 47年 5月 栃木県中学校新人体育大会の充実を図り、1, 2年生を対象とした秋期の新人大会を学校教育活動内の活動と位置付け、本連盟が主催する。新人体育大会の県費補助金30万円の初交付を受ける。
- 48年 4月 第5代会長 草島 尚介氏就任  
8月 第3回全国中学生バドミントン大会を宇都宮市で開催する。
- 11月 第18回関東中学校保健体育研究協議会栃木大会を宇都宮市で開催する。（宮の原中学校）  
関東中学校体育連盟20周年
- 50年 5月 第6代会長 鈴木 信氏就任  
専門部に研修部を設置する。（運営資料の整理調整・教科研修の強化）  
国費補助金（全国・関東体育大会の選手派遣費）98万円及び（総合体育大会開催費）50万円の交付を受ける。
- 51年 4月 第7代会長 伊藤 守氏就任
- 52年 4月 第8代会長 植竹 幸重氏就任  
8月 第7回全国中学校バスケットボール大会を宇都宮市で開催する。
- 12月 栃木県中学校体育連盟発足30周年記念事業を実施する。  
ア 優勝旗（35）中体連旗（5）の更新 昭和52年 8月2日  
イ 記念誌の発行 昭和52年11月  
ウ 記念大会の開催 昭和52年 8月2日 開会

- エ 記念式典並びに表彰・記念講演 昭和52年12月3日  
 記念事業の財源として、特別賛助会員の篤志寄付金と教職員（校長1000円、教頭500円、教職員200円）生徒10円の拠出を依頼する。
- 54年 4月 第9代会長 沼尾 省治氏就任  
 栃木県中学校体育連盟事務局をスポーツ会館内に設置する。
- 6月 専門部ごとに以前から行われていた、スポーツ少年団大会を栃木県中学校関東大会県予選会（現・春季体育大会）とし、本連盟主催大会として実施する。
- 55年 第35回栃の葉国体の開催「のびる力・むすぶ心・ひらくあした」のテーマ  
 4月 専門部にホッケー部を設置する。
- 8月 第7回全国中学校陸上競技選手権大会を宇都宮市で開催する。
- 56年 4月 第10代会長 増渕 重雄氏就任
- 58年 4月 第11代会長 増渕 増雄氏就任
- 10月 第28回関東中学校保健体育研究協議会栃木大会を藤原町で開催する。（藤原中学校）
- 59年 全国中学校選抜大会が、ロック開催制となる。
- 61年 5月 栃木県中学校運動部活動普及強化委員会が発足し、これまで体協が窓口であった強化奨励事業が中体連に移る。
- 61年 4月 第12代会長 大房 信一氏就任  
 8月 第16回全国中学校バスケットボール大会を宇都宮市で開催する。  
 第16回全国中学校バドミントン大会を真岡市で開催する。
- 62年11月 栃木県中学校体育連盟発足40周年記念事業を実施する。
- |                  |                |
|------------------|----------------|
| ア 記念大会の開催        | 昭和62年 7月29日 開会 |
| イ 優勝旗（新人体育大会）の樹立 | 昭和62年10月16日    |
| ウ 記念誌の発行         | 昭和62年11月28日    |
| エ 記念式典並びに表彰      | 昭和62年11月28日    |
- 記念事業の財源として、特別賛助会員の篤志寄付金と教職員（校長1500円以上、教頭1000円以上、教職員500円以上）の拠出を依頼する。
- 63年 2月 全国中学校スケート大会を日光市で開催する。  
 国民体育大会への中学生の参加（水泳・陸上競技・体操・フィギュアスケート）が認められる。
- 63年 4月 第13代会長 渡辺 榮一氏就任

## 平成

- 2年 4月 第14代会長 武井 岩夫氏就任
- 3年 4月 第15代会長 原 稔氏就任  
 10月 第36回関東中学校保健体育研究協議会栃木大会を塩原町で開催する。（塩原中学校）
- 4年 4月 第16代会長 國井 克夫氏就任  
 12月 栃木県中学校体育連盟顕彰規程を設ける。
- 7年 4月 第17代会長 手塚 操氏就任  
 8月 第26回全国中学校卓球大会を宇都宮市で開催する。  
 第17回全国中学校軟式野球大会を宇都宮市で開催する。
- 9年12月 第17回全国中学校スケート・アイスホッケー大会を日光市で開催する。  
 栃木県中学校体育連盟発足50周年記念事業を実施する。
- |                       |                |
|-----------------------|----------------|
| ア 記念大会の開催（雨天のため開会式中止） | 平成 9年 7月29日 開会 |
| イ 記念式典並びに表彰           | 平成 9年12月 8日    |
| ウ 記念誌の発行              | 平成10年 2月12日    |
- 記念事業の財源として、中体連予算40万円、分担金（地区中体連5万円×10地区、専門部5万円×20専門部）特別賛助会員の篤志寄付金の拠出を依頼する。
- 10年 4月 第18代会長 高橋 雅義氏就任

- 11年 4月 第19代会長 濱田 友之氏就任
- 10月 第44回関東中学校保健体育研究協議会栃木大会を宇都宮市で開催する。(陽北中学校)  
特別講演 講師 西 順一氏(宇都宮大学教育学部教授)  
演題 「これから部活動の在り方」
- 13年 4月 第20代会長 中山 正孝氏就任
- 14年 2月 栃木県中学校体育連盟顕彰規程を一部改正する。
- 15年 5月 規約一部改正により、教員分担金を200円にする。  
栃木県中学校体育連盟弔慰規程及び合同チーム編成規程を設ける。  
栃木県中学校総合体育大会総合開会式の廃止を委員会で決定する。  
栃木県中学校体育連盟要覧を創刊する。
- 16年 4月 第21代会長 森山 佳勇氏就任 栃木県中学校体育連盟ホームページを開設する。  
8月 第35回全国中学校ソフトテニス大会を黒磯市で開催する。  
第34回全国中学校剣道大会を小山市で開催する。
- 17年 4月 第22代会長 赤城 秀明氏就任  
5月 市町村合併により、地区名を安佐地区から佐野地区に変更する。  
規約一部改正により、学校分担金(学級数×1200円)制度を設ける。  
県中体連主催大会名を春季体育大会・総合体育大会・新人体育大会とする。  
顕彰規程一部改正により、優秀地区賞を廃止し、優秀学校賞に春季体育大会を加える。
- 18年 4月 生徒・引率者派遣費が、関東大会は生徒が実費、引率者は実費の三分の二となる。  
また、全国大会は生徒・引率者ともに実費の三分の二となる。  
5月 市町村合併により、地区名を上都賀北部地区から日光地区に変更する。
- 19年 4月 第23代会長 竹井 誠氏就任  
全国・関東大会の選手・引率者派遣費が、実費の三分の二となる。  
10月 第52回関東中学校保健体育研究協議会栃木大会を日光市で開催する。(ホテルニュー岡部)  
特別講演 講師 三屋 裕子氏(女子バレーボール元日本代表)  
演題 「バレーボールと私～いつも燃えていたい～」
- 12月 栃木県中学校体育連盟発足60周年記念事業を実施する。  
ア 記念祝賀会(ホテルニューイタヤ) 平成19年12月 7日  
イ 記念品作成(ネクタイ) 平成19年12月 7日  
ウ 記念誌の発行 平成20年 3月31日  
記念事業の財源として、特別賛助会員の篤志寄付金の拠出を依頼する。
- 20年 5月 栃木県中学校体育連盟専門部規約を一部改正し、研修部の県中教研保健体育部会との関わりを強めると共に、新たに専門部設置規程を設ける。  
平成17年度より春季体育大会開催に伴い、各競技の優勝旗を計画的に(年4本)作成することとなる。
- 21年 4月 第24代会長 岩崎 研一氏就任  
全国・関東大会の選手・引率者派遣費が、実費の60%となる。  
5月 新型インフルエンザの猛威により、栃木県中学校体育連盟緊急連絡網を作成した。
- 22年 4月 第25代会長 坂本 俊二氏就任  
全国・関東大会の選手・引率者派遣費が、選手のみとなり、実費の60%となる。  
2月 有望選手に対して、「奨励賞」を与える。
- 23年 4月 第26代会長 市村 勝義氏就任  
5月 東日本大震災を機に、栃木県中学校体育連盟緊急連絡網に携帯メールを加える。
- 24年 2月 第32回全国中学校アイスホッケー大会を日光市で開催する。  
4月 市町村合併により、地区名を上都賀南部地区から鹿沼地区に変更する。  
合同チーム編成規程を見直し、新たに栃木県中学校体育大会合同チーム参加規程を設ける。
- 24年 8月 第34回全国中学校ソフトボール大会を那須塩原市で開催する。

- 第52回全国中学校水泳競技大会を宇都宮市と小山市で開催する。
- 25年 4月 第27代会長 高久 昌一氏就任  
専門部設置規程を見直し、新たに新規加盟規程を設ける。  
合同チーム参加規程を一部改訂する。
- 27年 1月 第35回全国中学校アイスホッケー大会を日光市で開催する。
- 27年 4月 第28代会長 小花 聰氏就任
- 27年 5月 規約一部改正により、教員分担金を250円とする。  
県中体連主催大会において競技役員を行う教職員を対象として傷害保険に加入する。  
顕彰規程を一部改正し、文言の修正並びに第5条を加筆する。
- 27年 9月 役員ネクタイ作成
- 10月 第60回関東中学校保健体育研究協議会栃木大会を宇都宮市で開催する。  
(教育会館・コンセーレ)  
特別講演 講師 清原 伸彦氏 (日本体育大学名誉教授・学校法人武相学園理事長)  
演題 「集団行動を通し伝えたいこと」
- 28年 5月 合同チーム参加規程を一部改訂する。(アイスホッケー競技)
- 6月 栃木県中学校体育連盟発足70周年記念事業実行委員会を発足する。
- 7月 危機管理に関する文書の発送
- 9月 県新人大会より大会開催費を口座振り込みとする。
- 11月 県大会優勝旗状況調査を行う。
- 29年 4月 第29代会長 塩田 雅明氏就任  
5月 合同チーム参加規程を一部改訂する。(ホッケー競技)  
危機管理マニュアルの再検討を行い、各専門部で作成する。
- 12月 栃木県中学校体育連盟発足70周年記念事業を実施する。  
ア 記念祝賀会 (ホテルニューイタヤ) 平成29年12月 1日  
イ 記念品作成 (タオル) 平成29年12月 1日  
ウ 記念誌の発行 平成29年12月 1日  
記念事業の財源として、特別賛助会員の篤志寄付金の拠出を依頼する。
- 30年 4月 第30代会長 中山 俊美氏就任  
5月 栃木県中学校体育連盟運動部活動普及強化委員会規程を一部改訂する。(代表委員削除)  
合同チーム参加規程を一部改訂する。(監督・引率に部活動指導員を追加)  
栃木県中学校体育連盟主催大会実施要項見直しを行う。(部活動指導員について)  
硬式テニスを準加盟専門部として認める。研修部から研修・安全部へ改編する。
- 9月 「運動部活動顧問等の部活動指導中における暴力・体罰・セクハラ等に対する栃木県中学校体育連盟の対応」を作成する。
- 11月 「栃木県中学校体育連盟申し合わせ事項 (栃木県中学校体育連盟・栃木県中学校長会) を作成する。

## 2019年(平成31年・令和元年)

- 4月 第31代会長 星 和人氏就任
- 5月 合同チーム参加規程を改訂する。
- 令和2年1月 熱中症等への対応として、法令外負担金の増額が認められる。
- 3月 新型コロナウイルス感染症が世界的に感染拡大する。東京オリンピック延期決定(2021~)
- 4月 令和2年度栃木県中学校春季大会を中止する。
- 5月 全国中学校体育大会及び関東中学校体育大会中止決定
- 5月 栃木県中学校総合体育大会(夏季)を中止する。
- 7月 栃木県中学校新人体育大会を中止する。
- 9月 栃木県中学校体育連盟主催事業「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン Ver.1」作

成

- 10月 全国中学校駅伝競走大会中止決定
- 10月 栃木県総合体育大会アイスホッケー大会を実施する。
- 11月 栃木県中学校駅伝競走大会を規模縮小し実施する。  
栃木県中学校総合体育大会スケート大会（フィギュア）実施  
栃木県中学校体育連盟主催事業「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン Ver.2」作成

成

- 12月 栃木県中学校総合体育大会スケート大会（スピード）実施
- 12月 関東中学校駅伝競走大会茨城大会が規模を縮小し開催される。
- 令和3年1月 栃木県中学校総合体育大会スキーダービー大会中止決定  
全国中学校体育大会冬季大会中止決定
- 3月 栃木県中学校体育連盟主催事業「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン Ver.3」作成

成

- 4月 第32代会長 長谷川 智 氏就任  
常任理事会の設置・顕彰規程（学校賞）一部廃止、優秀監督賞の新設・研修・安全部を研修部会と安全・危機管理部会へ改編する。
- 6月 栃木県中学校春季体育大会を規模縮小・感染対策し実施
- 7月 栃木県中学校総合体育大会を規模縮小・感染対策し実施
- 8月 第65回全国中学校ソフトテニス大会を那須塩原市で開催する。  
第65回全国中学校卓球大会を宇都宮市で開催する。
- 10月 栃木県中学校新人体育大会中止決定
- 12月 栃木県中学校春季体育大会及び栃木県中学校総合体育大会を令和5年度より統合し、年間2大会の開催にすることを理事会決定する。

令和4年1月 栃木県中学校体育連盟主催事業「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン Ver.4」作成

- 4月 第33代会長 高橋 高 氏就任
- 6月 テニス（硬式）正式加盟の理事会決定をする。
- 9月 県総体（冬季）大会監督引率特例を決定する。大会参加規程について協議する。
- 10月 関東中学校保健体育研究協議会千葉大会誌上発表
- 令和5年1月 第43回全国中学校アイスホッケー大会を日光市で開催する。
- 2月 合同チーム参加規程一部改正  
地域スポーツ団体（地域クラブ活動）等の大会参加特例の理事会決定（3月10日公示）  
監督・引率細則の理事会決定 栃木県中学校体育連盟規約一部改正
- 4月 第34代会長 後藤 知行 氏就任  
拠点校部活動参加規程の決定  
栃木県中学校体育連盟主催事業「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン Ver.4」の撤廃決定
- 7月 栃木県中学校春季体育大会及び栃木県中学校総合体育大会を統合し、初の栃木県中学校総合体育大会を実施
- 10月 第68回関東中学校保健体育研究協議会栃木大会を宇都宮市立陽東中学校で開催する。